

起連区 地域づくり協議会だより

第67号



発行日：令和8年9月1日 発行者：起連区地域づくり協議会 広報部会

六斎ばやしの練習開始

400年前、京都の旅芸人が起宿に伝え、100年ほど前から起地区の川祭りで奉納されている、『六斎ばやし（一宮市無形文化財）』の毎年恒例の練習が始まりました。木曾川の流れを太鼓と横笛、三味線で表し、悠久の懐かしさを奏でています。

今年は小学一年生をはじめとする子ども23名と大人3人が下りばやしと上りばやしの2曲を演奏します。子どもたちと、大人が一緒になり、六斎ばやし保存会の支援のもと、伝統芸能を伝承されていることを大変ありがたく思います。暑い中での練習ですが7時から守成公民館に集まり、本番に向けて頑張っています。このような伝統行事を引き継ぐ六斎ばやし保存会、子どもたち、ご家族、地域の方々のご支援に感謝します。8月3日には、昨年に続き若山しんじ代議士と大津のりよ市議員に練習の様子をご覧いただきました。

練習日：7月22日（水）、24日（金）、27日（月）、29日（水）、31日（金）
8月3日（月）、5日（水）、7日（金）、10日（月）



水天宮祭六斎ばやし 下り



水天宮祭六斎ばやし 上り

今後の予定

8月14日（金）水天宮祭六斎パレード（金刀比羅神社と起沿道）
10月25日（日）尾西祭りにて六斎パレード（一宮市尾西庁舎から御裳神社）



▲ 鮮やかな浴衣姿と山車の昨年の水天宮祭



▲ 若山しんじ代議士と大津のりよ市議員の応援



▲ 小学校低学年の子どもたちの太鼓練習



▲ 代々使い続けている太鼓



▲ 小学校中高学年が奏でる横笛



▲ 古式ゆかしき三味線

六斎ばやし保存会の皆さん

				器材準備責任者	今井 栄司	実行委員	安藤 譲一
運営責任者	立石 真理子	事務局責任者	近藤 尚之	器材準備責任者	久保田 弘光	実行委員	山田 逸男
副運営責任者	加藤 しのぶ	事務局責任者	小笠原 正雄	衣装準備責任者	古崎 明美	実行委員	石垣 栄三
統括責任者	高橋 勝美	事務局責任者	市川 忠夫	実行委員	大島 壽治	実行委員	馬場 遼也
事務局責任者	坪内 吉幸	演奏指導責任者	加納 邦夫	実行委員	大津 由紀夫	実行委員	近藤 洋子
事務局責任者	浅井 輝夫	演奏指導責任者	加藤 明美	実行委員	小川 典子	起連区各町会長各位	
事務局責任者	館 真昭	演奏指導責任者	小塚 実	実行委員	柴田 裕一	起連区民生児童委員各位	

第 63 回

式年遷宮お木曳き行事

日 時 令和 8 年 6 月 5 日 (金)、6 日 (土)

場 所 二見興玉神社、外宮

1300 年続いている『第 63 回神宮式年遷宮 (2033 年)』に向け、昨年は地元の起金刀比羅神社での御神木奉迎送を実施しました。今年は現地の伊勢市にて『お木曳き行事』に参加し、中島支部の皆さんとバス 5 台で向かいました。

20 年に一度の開催で初めて参加する方が多く、緊張はありましたが、白い法被を身にまとうことで気持ちが高まりました。当日は、全国から 1700 名が伊勢市内に集まり、御神木がのったお木曳き車を 200m の縄で引っ張り「エンヤー、エンヤー」のかけ声のもと、1500m 先の外宮へと無事、奉納することができました。

古の時代から木曾川とともに反映してきた起地区の歴史の奥深さを知ることができたと同時に、20 年に一度の栄えある行事に参加することができ大変光栄に思っています。



▲ 浜参宮にて参拝



▲ 二見興玉神社にて参拝



▲ 外宮に御神木を奉納



▲ 伊勢市内からお木曳き開始



▲ 1500m の道のりをお木曳き

いちのみや発見

一宮市尾西歴史民俗資料館



8月30日まで

休館日：毎週月曜日



夏季企画として、起宿の街並み、木曾川と水泳場、起風の展示をしています。子ども向けのイベントも開催しています。ぜひご来館ください。